

## 第二期中期目標(案)に対する分科会意見と修正について

資料 6

### 1 中期目標(案)に対する意見・修正

#### 3(2) 「適切な法人運営を行うための体制強化」について

意見	修正
「 <u>内部監査体制の強化</u> など、内部統制の仕組みの充実を図る」とあるが、現在実施している「 <u>会計監査</u> 」だけでなく「 <u>業務監査</u> 」にも取り組むことを明記すべき。	「 <u>業務監査の実施による内部監査体制の強化</u> 」に修正

#### 4(2) 「コスト管理の体制強化」について

意見	修正
「 <u>組織全体でコスト管理</u> に取り組むことで、より安定的な経営基盤の確立を目指す」とあるが、「 <u>コスト管理</u> 」だけでは抽象的。「 <u>コスト計算とコスト管理</u> 」とした方が、コストの分析をした上で管理を行うという意味が明らかになる。	「 <u>組織全体でコスト分析に基づくコスト管理</u> に取り組むことで <u>・</u> 」に修正

#### 5 「その他業務運営に関する重要事項(法人運営におけるリスク管理の強化)」について

意見	修正
「 <u>組織全体で様々な視点から法人運営に係るリスク管理</u> に取り組むことが重要」とあるが、「 <u>医療におけるリスク</u> 」「 <u>研究におけるリスク</u> 」「 <u>法人のガバナンス上のリスク</u> 」など、「 <u>様々な</u> 」というところをもう少し具体的な表現にできないか。	医療のリスクについては2(1)オ(イ)「 <u>医療安全対策の徹底</u> 」で別途記述。この項目では、法人運営に係るリスク管理を想定。 ⇒現案のままとする。
「 <u>リスクの管理</u> 」も、コスト管理と同様に、「 <u>管理</u> 」だけだと抽象的である。「 <u>リスクの分析と管理</u> 」とすべき。	「 <u>様々な視点から法人運営に係るリスク分析及びリスク管理</u> に取り組むことが重要」に修正
「 <u>震災や新型インフルエンザの発生等の非常時を想定し、法人内の危機管理体制の整備</u> を図る」とあるが、危機管理体制の整備には、現在も取り組んでいると思う。「 <u>より一層の</u> 」などの表現が適切。	「 <u>法人内の危機管理体制のより一層の強化</u> を図る」に修正

## 2 今後の取組内容に関する意見

- センターの今後の方向性を決めるに当たっては、診療報酬改定の内容など、国の施策の方向性を踏まえ、例えば、救急医療における重症度の高い患者の受入れ、在宅医療との連携など、今後強化していく具体的な取組を検討する必要がある。
- 地域の医療機関や患者に対して、より効果的な情報発信が必要。現在も「地域連携ニュース」などの発行はあるが、よりわかりやすく、センターの特徴をPRする方法を考えてほしい。そうすれば、新たな患者の増にもつながる。
- 救急診療部を設置し、救急医療体制の充実に取り組んでいるが、医師は他の診療科と兼務であり、まずは形を作ったという段階だと思う。救急医療においては、研修医を指導・育成する体制がないと、進展していかない。人手の活用が今後の課題になる。
- 第二期の緩和ケア病棟の設置に向け、第一期中に緩和ケア内科を設置しているが、体制をみると専属の医師が1名であるなど、十分とは言えない。今後テコ入れが必要だろうと思う。特に、高齢期のがんの緩和ケアは、不安をどのように聞いてあげるかが重要なので、患者が気兼ねなく相談できる相談体制をつくる必要がある。
- 研究所はこれまでもいろいろな研究に取り組んできており、特に認知症については、病院と連携をした成果をあげている。このような研究成果について、例えば記者会見を行うなど、より積極的なPRが必要。
- 災害時においては、認知症の患者を受け入れなど、福祉避難所的な役割が地域から求められるのではないかと。そのような地域のニーズへの対応についても、着手したほうがよい。  
また、災害時には、医療用の水は圧倒的に不足することが想定される。備蓄については、配管の破損の可能性など具体的な想定に基づいて計画をたてる必要がある。
- 高齢者の病院として、看取りの問題に正面から取り組むべき。研究所が実施している看取りの研究結果を活かし、病院において実践していくことが必要。